



古くは  
司

々







る



新勅雜二

雲北う乃露の毛衣ぬきま

道信の信

同

あふの雲け上り引ぬれ

因融院僧衣

詞花雜下

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

拾遺愚草

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

風雅三

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

同志二

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

後拾遺

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

拾遺負外上

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

新後雜中

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

同

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

新子志一

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

同志又

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

新後吉志三

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

新拾志三

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

風雅志二

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

新拾尺教

あふの雲け上り引ぬれ

有原の重信

類切



新拾遺上 雲々 風の終りあうめ けりかけまは秋の初月 正三位成國  
 同卷三 何のあはれをさしめたり さらさらまはるけはるまへ 俊光嚴院  
 新拾遺三 ありは初人のあはれつて さらさらまはるけはるまへ 大徳院長徳  
 後撰卷三 雲井もかきよ人のあはれは さらさらまはるけはるまへ 高子院信長  
 新後冬 さらさらまはるけはるまへ さらさらまはるけはるまへ 従三位成久  
 新子書上 雲あはれ雲けのあはれ初め さらさらまはるけはるまへ 伏見院信家  
 後子尺教 月乃さあ何をいそぐ雲雲を さらさらまはるけはるまへ 法皇信長  
 新拾遺三 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大江廣秀  
 後古卷三 うたのあはれはむつ青村村あ さらさらまはるけはるまへ 後子西院下野  
 新後古卷三 わひつもあはれはむつ青村村あ さらさらまはるけはるまへ 従三位重成  
 後子尺教 まはるけはるまへ さらさらまはるけはるまへ 大徳院信定  
 拾遺自外上 雲あはれ雲けのあはれ初め さらさらまはるけはるまへ 俊光嚴院  
 新後古冬 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾遺卷三 まはるけはるまへ さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 後古尺教 うたのあはれはむつ青村村あ さらさらまはるけはるまへ 大江廣秀  
 新後古卷四 まはるけはるまへ さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 後子尺教 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 大和地蔵 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長

壬生二上 無火乃おぬより さらさらまはるけはるまへ 俊光嚴院  
 拾遺愚草 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾玉集尺 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾遺物名 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾玉集四 うたのあはれはむつ青村村あ さらさらまはるけはるまへ 大江廣秀  
 同一 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 後拾遺春 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 金葉冬 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 後拾遺冬 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 子裁雜上 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 初花雜上 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 後古秋下 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 同冬 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 新古冬 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾遺雜上 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 新子尺教 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾玉集七 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長  
 拾遺秋 いろあはれと松山のあはれま さらさらまはるけはるまへ 大徳院信長



























拾遺愚草上 今つて... 秋乃... 玉葉冬一 芳の... 我... 新集冬三 別つ... 新後羈旅 ち... 新古秋上 清... 後千言傷 心... 拾遺愚草下 加... 拾遺真外下 け... 拾遺愚草上 あ... 子載秋下 大... 後拾遺下 吉... 後子春上 か... 新拾遺下 ち... 玉葉雜又 夏... 月清集上 恨... 新古善下 恨... 後拾遺春中 恨...

さそと... 入道... 中絶... 久貞... 授中... 孫氏... 道因... 順法... 大慈... 大僧... 皇太后... 藤原...

新後百春下 春... 後子春下 春... 後古善下 春... 後子春下 春... 玉葉秋下 秋... 後拾遺上 秋... 新拾遺上 秋... 新古善下 秋... 月清集上 秋... 玉葉冬 冬... 古今雅下 冬... 後拾遺上 冬... 凡雅下 冬... 新拾遺上 冬... 山家集下 冬... 新拾遺上 冬...

さそと... 平自... 伏見... 月花... 典侍... 前内... 佛四... 信專... 及一... 小野... 大天... 從二... 花山... 雅水... 民抄...



後古冬

みよ人のわらそのとらふるまきと さういふはまよ木枯の色 批把皇太后

後拾雅春

ありて世のほろくとも掃花 さそひをそそそ其風山凡 荻原景純

同雅秋

一本葉も落ともちも候さく さそひをそそそ其風山凡 覺増法親

後拾書下

足引のみふくれうらうたを さそひていつる谷川の多 從二位行家

新古今上

たつねつる平路もふりき花のうを さそひていつる山をうの風 西園寺念大尺

後拾雅秋

ゆめぬまをうらうらう様人を さうひていつるさゆの月 從三位乃繼

壬生二五中

管のうらあち人へちふちれや さそひいれをたぬきをぬ 源邦長朝

新後冬

をのつらふもむもまきまきぬは さういひもそそまゆ山川 源邦長朝

拾玉集三

きこもきこもつらふ候くも さうらうは八景と輝くも

新拾五

あまうに初孫もあけつて 郭云 さ月八のつ時とわらあり 大納言乃成

風雅五

まこれつてまゆめなるかきき 郭云 さつさうらうはたむねを 大納言乃成

拾遺集七

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

新後冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

長秋詠下

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

壬生二五中

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

同

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

山家集上

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

拾遺集外上

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後拾雅春

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

拾玉集二

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

新古今

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

同

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

壬生二五中

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後拾雅春

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

壬生二五中

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

新後冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

山家集上

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

拾遺集外上

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成

後古冬

あつちのあつち苗代をたけりり さつさうらうはたむねを 大納言乃成



拾玉集三

けしきよきつりては指と細くして  
さかづきと思はゆらん

新撰下

ふさくはきつるささげもて  
さかづきと云ふ白雲  
お天竺言鳥氏

拾遺愚草

山掃雲の下ひもまゝあはれ  
さかづきと云ふ昔れ衣子  
太宰権師の徒

新撰上

惟望と云ふそむ人梅のしほ  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同雅上

本れと云ふそむ心梅の花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾玉集二

のこころの秋乃文雲と  
さかづきと云ふさかづき花  
お天竺言鳥氏

玉葉秋下

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

新撰拾遺

ゆきさきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾遺愚草上

あさきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾玉集四

いづ水か今つみんはつて  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同又

みせと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同七

雲枯やはらぬと隙と  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同四

のろくはつてのさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾遺愚草上

昔秋のあはれさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

新撰上

唯やあはれさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾玉集一

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

後撰撰秋

改磨のあはれさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

玉葉三

思ひぬれさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

後撰撰秋上

秋のまにぬれさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同又

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同羈旅

よそよそと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

新撰雜別

海山と云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

新撰雅上

我やれ雑別と云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾玉集一

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

山家集上

勅と云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

新古志一

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾遺愚草

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

同上

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

古今雜上

ぬれやれと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

風雅志四

人さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

拾遺愚草上

けりさかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

玉葉雜上

持てさかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

壬生三下

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

今裁志二

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

玉葉冬

枯つさかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

新古雜別

さかづきと云ふさかづき花  
さかづきと云ふさかづき花  
従二位長方

基俊

太宰大貳重忠

源忠明

文貞公

式子内親王

和泉成子

大徳公重忠

河原左衛門

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳

院無傳



後古賀

雪はのり江の老木と思ひけり  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

後拾遺中

夕ひとのうくはる影をさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

新古今又

むくや中津の氷をさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

拾遺草上

若うさひのりさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

山家集下

ねらうさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

同

かそあさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

風雅又

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

新古今中

いとわけて今うらさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

後拾遺中

まさりけりさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

山家集上

うらさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

風雅冬

ねらうさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

新古今冬

なまさとさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

玉葉冬

月影の絲さるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

新古今下

様りかさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

拾遺草中

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

拾玉集六

甚風乃ひささるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

新古今賀

男山今を百代のさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

後古賀

さるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

拾玉集三

さるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

玉葉冬

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

後拾遺中

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

後古賀

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

拾遺草上

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

風雅冬

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母

新古今中

あけさるわい  
さしはたさくみけらぬか  
右近大納言母



















新古雜中 忘れし人々を思ふに  
 玉葉集下 花さくぬらきあめあはれ  
 新葉集 昔よりけしきよき  
 後拾遺下 花さくぬらきあめあはれ  
 拾遺草 花さくぬらきあめあはれ  
 後拾遺下 花さくぬらきあめあはれ  
 壬生二系中 花さくぬらきあめあはれ  
 新千世下 花さくぬらきあめあはれ  
 拾遺草 花さくぬらきあめあはれ  
 新古集下 花さくぬらきあめあはれ  
 月清集上 花さくぬらきあめあはれ  
 拾遺草 花さくぬらきあめあはれ  
 山家集上 花さくぬらきあめあはれ  
 後古春上 花さくぬらきあめあはれ  
 月清集上 花さくぬらきあめあはれ  
 新古集下 花さくぬらきあめあはれ  
 月清集上 花さくぬらきあめあはれ

後醍醐天皇  
 相模  
 中務卿宗良  
 後醍醐天皇  
 後成安

新古集下 今宵は又ふれしと  
 後拾遺草 今宵は又ふれしと  
 拾遺草 今宵は又ふれしと  
 玉葉集下 今宵は又ふれしと  
 風雅集下 今宵は又ふれしと  
 若葉集上 今宵は又ふれしと  
 後拾遺草 今宵は又ふれしと  
 拾遺草 今宵は又ふれしと  
 後古雅上 今宵は又ふれしと  
 風雅集下 今宵は又ふれしと  
 壬生二系中 今宵は又ふれしと  
 拾遺草 今宵は又ふれしと  
 同六 今宵は又ふれしと  
 同四 今宵は又ふれしと  
 新葉集上 今宵は又ふれしと  
 新古集下 今宵は又ふれしと

後醍醐天皇  
 西園公  
 中務卿宗良  
 後醍醐天皇  
 後成安



頂磨

拾遺集外上

山家集下

同

月清集上

後古春上

拾玉集二

玉葉集下

全葉集

後子雅集

壬生二下

風雅集下

同

拾遺集下

同下

拾玉集六

後拾遺集

拾玉集五

いとくく大ま人の志すまふ

彼のよも悲い雨乃らちあれて

風鳴いむ笑彼れあつていひよ

あかしく彼れあつてあつてあつて

いづまの雲を霞とももるあね

白雪や花よりうらふあつて

いづれへていづれあつていづれ

咲あつていづれあつていづれあつて

花はさくあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

あつていづれあつていづれあつて

西行法師

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

二条太皇太后

法性寺

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

二条太皇太后

法性寺

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

二条太皇太后

法性寺

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

二条太皇太后

法性寺

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

二条太皇太后

法性寺

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

二条太皇太后

法性寺

後三任種朝女

風雅集下

拾遺集上

風雅集中

いとくく大ま人の志すまふ

彼のよも悲い雨乃らちあれて

風鳴いむ笑彼れあつていひよ

あかしく彼れあつてあつてあつて

いづまの雲を霞とももるあね

白雪や花よりうらふあつて

西行法師

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇

風雅集下

拾遺集上

風雅集中

いとくく大ま人の志すまふ

彼のよも悲い雨乃らちあれて

風鳴いむ笑彼れあつていひよ

あかしく彼れあつてあつてあつて

いづまの雲を霞とももるあね

白雪や花よりうらふあつて

西行法師

後三任種朝女

和泉式部

皇太后

平貞時

太上天皇











拾玉集五 霜さゆらけ板屋乃れあはれ さらさら袖に大あけりぬ  
 子裁衣二 衣のまの我ゆくとくはねひひに さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾玉集八 山れくも又くひるきさるけい さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 新拾羈旅 ともりすとくはゆら夜の流枝 さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾玉集八 異行の冬乃れ我をさぬよりさ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 金葉衣上 あさゆらゆらと加さるるりぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾玉集二 みまの人の袖は雲よりぬれ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 新拾拾冬 らうが方も移れり年賦書あはれ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 新古衣傷 る死後れ面影とのと男にそて さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後千衣二 燕さるるれゆらとくはねひひに さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後拾遺衣四 かつもかきぬれ床のいさやすま さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 新拾拾秋 さらさらとゆらゆら石流あり さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後古衣傷 ちやちやとゆらゆら石流あり さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後拾拾秋 神垣の葛れ下風のとうあく さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 新拾古衣 冬月るるまの秋も移れぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後拾撰杖上 秋風は妻まの山乃れ我をさぬよりさ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 山家集上 あかちやとゆらゆら石流あり さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 千載冬 一つのまに算れぬ乃れゆらゆら さしそいつくまをなごも 権大納言雲國

新拾賀 善日山やぐもさるるさ松枝よ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾玉集五 多秋さるるもねまれ枝よめし さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 新拾秋下 時多つ袖よとゆら秋の月ぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 金葉衣下 あふ事いさるるりそとゆらぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾玉集七 冬乃月れ海とゆらぬ雲霞よ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 風雅冬 ねあちぬる光もさしゆらゆら さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾遺負上 後乃せ乃れぬもさしゆらゆら さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 拾玉集八 雲れ戸たあさるるもさしゆらゆら さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 風雅春中 春月新世にそ雲とゆらぬささく さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 壬生二衣中 荒玉れぬもゆら梅うさるる さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後拾遺雅八 いつとゆらゆらさるるささゆらぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 し女 いちへんあさるるささゆらぬささゆらぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 風雅春中 花のうへさるるもゆらぬの秋味で さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 松風 ちやちやとゆらゆらさるるささゆらぬ さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 山家集 かつもかきぬれ床のいさやすま さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 後古衣 ちやちやとゆらゆら石流あり さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 山家集上 ちやちやとゆらゆら石流あり さしそいつくまをなごも 権大納言雲國  
 金葉衣冬 あかちやとゆらゆら石流あり さしそいつくまをなごも 権大納言雲國

頭切

世

右近大納言  
 権中納言定家  
 よろ人あさるる  
 三位隆教  
 左大臣  
 儀子内親王  
 相摸  
 後伏見院  
 中務  
 源雅光



千載秋上 本枯乃雲... 源俊賴  
拾遺長草上 暮らぬの... 皇太后  
新勅秋下 暮らぬの... 中院  
新子志二 暮らぬの... 後三位  
同表傷 暮らぬの... 僧  
拾遺負外上 暮らぬの... 僧  
拾玉集六 暮らぬの... 僧  
新子志一 暮らぬの... 僧  
新子志二 暮らぬの... 僧  
新子志三 暮らぬの... 僧  
拾玉集三 暮らぬの... 僧  
新葉上 暮らぬの... 僧  
新葉拾雅上 暮らぬの... 僧  
新葉志一 暮らぬの... 僧  
新古志三 暮らぬの... 僧  
拾玉集四 暮らぬの... 僧  
同三 暮らぬの... 僧

新子志三 暮らぬの... 源棟義  
拾玉集三 暮らぬの... 源棟義  
新子志二 暮らぬの... 源棟義  
山家集上 暮らぬの... 源棟義  
新子志一 暮らぬの... 源棟義  
山家集 暮らぬの... 源棟義  
後撰撰一 暮らぬの... 源棟義  
新子志四 暮らぬの... 源棟義  
後撰撰二 暮らぬの... 源棟義  
拾遺長草上 暮らぬの... 源棟義  
拾玉集三 暮らぬの... 源棟義  
月清集上 暮らぬの... 源棟義  
後撰撰中 暮らぬの... 源棟義  
同志二 暮らぬの... 源棟義  
新子志二 暮らぬの... 源棟義  
新古集下 暮らぬの... 源棟義  
山家集下 暮らぬの... 源棟義  
月清集上 暮らぬの... 源棟義



子載三 ちつさあふを限りとすりかた さそいひくちひさひり 前中納言定家  
 新拾遺 ぬきうてかゝる人ときまぬ衣 さらも夜の面影をうら 信實朝戸  
 後拾遺中 老てこそ世をまじくしと思ひし さらもこれ程つらうか  
 拾遺五草上 くらひつらうのこころけはるあや さらもうらまき衣をか  
 拾遺五草四 さりしつらうのあやてはまきあひ川 さらも袖のぬれまじらふん  
 風雅三 色事よふかかかんといひし さらもあき命なりけり 太宰大貳重家  
 山家集下 雲の上れよりみともいひし さらもやそて信一果ね  
 新拾遺上 和田の原月もよそまは浪の上よ さらもあはれを惜み 前中納言秀  
 拾遺五草又 衣衣そめり人まはかきうり さらも秋のくれの白露  
 新拾遺古雅中 くらひつらうま世をまじくし さらもいとちぬ我ちかた  
 風雅三 思ふさす中し今れ一言よ さらもいふあこころをいふ 永福門院  
 同三 今つらつらまはなりて思ふ人の さらもいふあこころをいふ 赤光院御製  
 新拾遺古三 人めよまはるぬよませと終花 さらもいふあこころをいふ 中納言宗良親  
 新葉春下 誰かよまはるぬよませと終花 さらもいふあこころをいふ 中納言宗良親  
 子載三 ほどたてまき人あこころをいふ さらもいふあこころをいふ 覺盛法師  
 同三 たるくくかかてまはれぬ衣 さらもあはれを惜み 左京督隆房  
 拾遺五草上 かけまきま雲の月影あつ さらもあはれを惜み 左京督隆房  
 新拾遺三 なるりまはるると思ひつらふ さらもあはれを惜み 左近中納言基

拾遺五草 ちつさあふを限りとすりかた さそいひくちひさひり 前中納言定家  
 新拾遺三 ぬきうてかゝる人ときまぬ衣 さらも夜の面影をうら 信實朝戸  
 後拾遺中 老てこそ世をまじくしと思ひし さらもこれ程つらうか  
 拾遺五草上 くらひつらうのこころけはるあや さらもうらまき衣をか  
 拾遺五草四 さりしつらうのあやてはまきあひ川 さらも袖のぬれまじらふん  
 風雅三 色事よふかかかんといひし さらもあき命なりけり 太宰大貳重家  
 山家集下 雲の上れよりみともいひし さらもやそて信一果ね  
 新拾遺上 和田の原月もよそまは浪の上よ さらもあはれを惜み 前中納言秀  
 拾遺五草又 衣衣そめり人まはかきうり さらも秋のくれの白露  
 新拾遺古雅中 くらひつらうま世をまじくし さらもいとちぬ我ちかた  
 風雅三 思ふさす中し今れ一言よ さらもいふあこころをいふ 永福門院  
 同三 今つらつらまはなりて思ふ人の さらもいふあこころをいふ 赤光院御製  
 新拾遺古三 人めよまはるぬよませと終花 さらもいふあこころをいふ 中納言宗良親  
 新葉春下 誰かよまはるぬよませと終花 さらもいふあこころをいふ 中納言宗良親  
 子載三 ほどたてまき人あこころをいふ さらもいふあこころをいふ 覺盛法師  
 同三 たるくくかかてまはれぬ衣 さらもあはれを惜み 左京督隆房  
 拾遺五草上 かけまきま雲の月影あつ さらもあはれを惜み 左京督隆房  
 新拾遺三 なるりまはるると思ひつらふ さらもあはれを惜み 左近中納言基

拾遺五草 ちつさあふを限りとすりかた さそいひくちひさひり 前中納言定家  
 新拾遺三 ぬきうてかゝる人ときまぬ衣 さらも夜の面影をうら 信實朝戸  
 後拾遺中 老てこそ世をまじくしと思ひし さらもこれ程つらうか  
 拾遺五草上 くらひつらうのこころけはるあや さらもうらまき衣をか  
 拾遺五草四 さりしつらうのあやてはまきあひ川 さらも袖のぬれまじらふん  
 風雅三 色事よふかかかんといひし さらもあき命なりけり 太宰大貳重家  
 山家集下 雲の上れよりみともいひし さらもやそて信一果ね  
 新拾遺上 和田の原月もよそまは浪の上よ さらもあはれを惜み 前中納言秀  
 拾遺五草又 衣衣そめり人まはかきうり さらも秋のくれの白露  
 新拾遺古雅中 くらひつらうま世をまじくし さらもいとちぬ我ちかた  
 風雅三 思ふさす中し今れ一言よ さらもいふあこころをいふ 永福門院  
 同三 今つらつらまはなりて思ふ人の さらもいふあこころをいふ 赤光院御製  
 新拾遺古三 人めよまはるぬよませと終花 さらもいふあこころをいふ 中納言宗良親  
 新葉春下 誰かよまはるぬよませと終花 さらもいふあこころをいふ 中納言宗良親  
 子載三 ほどたてまき人あこころをいふ さらもいふあこころをいふ 覺盛法師  
 同三 たるくくかかてまはれぬ衣 さらもあはれを惜み 左京督隆房  
 拾遺五草上 かけまきま雲の月影あつ さらもあはれを惜み 左京督隆房  
 新拾遺三 なるりまはるると思ひつらふ さらもあはれを惜み 左近中納言基

従二位行忠  
 寂然法師  
 赤深染門  
 言階宗成  
 法下也宗成  
 鎌倉右大臣  
 皇太后兼  
 俊成  
 左京大夫兼  
 右京院帥  
 右京隆祐  
 信實朝戸  
 前中納言定家  
 前中納言秀  
 太宰大貳重家  
 永福門院  
 赤光院御製  
 中納言宗良親  
 覺盛法師  
 左京督隆房  
 左近中納言基



新葉雜下

老てこそ今思ふ事ありけり  
さてもしつれどもまよひ  
従三位俊文

新拾遺五

さく網のひこてあまのこに  
さてもうゝぬ浪のまき  
正三位知家

新勅雅一

いさや花のあもそめりけり  
さてもうゝたははるり  
前大納言米

同雅二

りんもよよのこころ村時  
さてもうゝ世はあまの  
法下聖之

拾遺五上

あつらひ入目いそひきり  
さてもうゝ切てまはる  
右大辨通俊

拾遺五中

善乃こそまらぬ様をみり  
さてもうゝまをけり  
凡河内三

古今五

わらわしく我をたのしみ  
さてもうゝまを世と  
よろこぶ

拾遺五上

我もろりれをたのしみ  
さてもうゝたを世と  
よろこぶ

拾遺五下

秋乃月らまはれ  
さてもうゝわゆるを  
平宣時

後小五

後の世れむいそひきり  
さてもうゝ人の思ひ  
平宣時

拾遺五上

君が思ふらまはれ  
さてもうゝまをけり  
右大辨通俊

壬生二上

はよむらまはれ  
さてもうゝまを世と  
凡河内三

拾遺五中

うさうさまはれ  
さてもうゝまをけり  
凡河内三

壬生二下

朝夕れまらうらまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

風雅雜下

様花をけりまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新勅下

いそひきり夜まはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

月清集下

いそひきり夜まはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新勅五二

けりまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

後拾遺雅

いそひきり夜まはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新勅五三

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

同五四

うさうさまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新拾遺六

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

玉葉五

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新葉雜中

わらわしく我をたのしみ  
さてもうゝまを世と  
源師光

後拾遺三

はるや我をたのしみ  
さてもうゝまを世と  
源師光

後拾遺五

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新葉言

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

壬生二下

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新勅拾上

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

後古秋下

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

新勅五三

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

拾遺五中

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

同上

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

後古雜下

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

同上

あまのこまはれ  
さてもうゝまを世と  
源師光

源道法師

四條宰相

従三位隆教

従一位謀子

正三位知家

従三位親子

指大納言云

院井内侍

源具親

後三条入道

前大納言

皇太后

後院内侍

太宰大貳重家

前大納言



















月清集上

くわ我君乃所前よりみ乃

うてうよりあつらうか

法眼源義

新後志三

とれ世川こそ代十はるれ掉

うてたのめやまをさる

前太政大臣

風雅神祇

ふかみとり若年の山乃柳を

うてそいのつふ世にあり

藤原義忠

新古神祇

あつみとり若年の山乃柳を

うてそいのつふ世にあり

民部卿經光

同友

又月よりみ乃満よりそふあ

うてそいのつふ世にあり

祐盛法師

拾玉集四

星にゆよさわけき月夜光り

うてそいのつふ世にあり

祐盛法師

同二

三笠山松の村立いぢぬちみ

うてそいのつふ世にあり

祐盛法師

同五

みよ山若くふけ雪みよ

うてそいのつふ世にあり

祐盛法師

壬生二系中

冬に夜乃まのれ月もあられ山

うてそいのつふ世にあり

祐盛法師

新千冬

さねあもあつよ一そふけほの山

うてそいのつふ世にあり

忠房卿

新勅志二

いづかろの松山川乃水

うてそいのつふ世にあり

忠房卿

拾遺別

さうられんとのそつう

うてそいのつふ世にあり

天曆神制不

風雅雜上

己れ川乃うろあれそふれ月

うてそいのつふ世にあり

藤原秀行

拾玉集六

何とあひひとるあつはま

うてそいのつふ世にあり

藤原秀行

同一

大宮乃あつん事もあつ

うてそいのつふ世にあり

藤原秀行

新後拾遺

物といふもろはとる世のあつ

うてそいのつふ世にあり

藤原秀行

新古志三

あつん事もあつはま

うてそいのつふ世にあり

藤原秀行

新後志二

物といふもろはとる世のあつ

うてそいのつふ世にあり

藤原秀行

新後志二

物といふもろはとる世のあつ

うてそいのつふ世にあり

大津時師

壬生二系中

月みぬけの好れ雨けり

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新千誹諧

いづれいそあつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

同類一

さうられんとのそつう

うてそいのつふ世にあり

大津時師

拾玉集四

うせやぬくのれもあつ

うてそいのつふ世にあり

大津時師

後拾遺二

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新葉冬

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

拾玉集一

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

壬生二系上

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新千志二

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

壬生二系中

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

後拾遺二

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

風雅秋下

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新後志中

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新千系中

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新後志上

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師

新古類下

あつはま

うてそいのつふ世にあり

大津時師



拾遺集外上

拾玉集一

新葉雜中

新玉集下

玉葉秋上

新法拾雅上

新法拾雅中

拾玉集四

凡雅秋上

山家集上

同

拾遺集上

新古冬

多載秋下

新古夜

十載秋下

新法拾雅中

拾玉集七

あつりつり木葉... さいりくろくまをきとて思ひて

くしそりりあまきこく乃法ゆれ... さいりくろくまをきとて思ひて

いりかて大山のあけけりり... さいりくろくまをきとて思ひて

尻ち手組の最上座をき... さいりくろくまをきとて思ひて

もろりりあひやうり山雲... さいりくろくまをきとて思ひて

ろりれり海山の座をゆく... さいりくろくまをきとて思ひて

かひれ新乃掃あふり... さいりくろくまをきとて思ひて

新もろり柳さうれゆつ... さいりくろくまをきとて思ひて

雲よあひてあひ... さいりくろくまをきとて思ひて

玉ゆき... さいりくろくまをきとて思ひて

うつりあ乃光... さいりくろくまをきとて思ひて

清き... さいりくろくまをきとて思ひて

ゆき... さいりくろくまをきとて思ひて

夕は... さいりくろくまをきとて思ひて

あま... さいりくろくまをきとて思ひて

古き... さいりくろくまをきとて思ひて

秋... さいりくろくまをきとて思ひて

秋... さいりくろくまをきとて思ひて

山家集上

新葉雜中

山家集上

同下

同

拾遺集上

凡雅雜中

孩古尺教

山家集上

拾玉集二

凡雅秋下

新法冬

拾遺集下

拾玉集四

土生二上

拾玉集一

新拾冬

拾遺集上

花の... さいりくろくまをきとて思ひて

任... さいりくろくまをきとて思ひて

本... さいりくろくまをきとて思ひて

松... さいりくろくまをきとて思ひて

と... さいりくろくまをきとて思ひて

雲... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

山... さいりくろくまをきとて思ひて

巻四

三

如願法師

今上げ

儀内教

前大徳百良

後京時昌

鷹司院市

浄上人

皇太后

祥子内教

為道親

中納言



後任撰中

何れもくぬらねとさすうてさもいさうふた月日か 古近中おぼ

新拾遺一

うりつと採の下まういさうささのあうす凡のまうれ 在系惟成

拾遺愚草

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新拾遺二

よまれ海のあまれまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

拾遺愚草

かのもういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

後衣二

日まういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

後千二

まもまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

仍撰雅二

ふく風のまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

凡雅三

人へゆき雪かまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新撰雅上

られてゆきゆきまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

凡雅三

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

玉葉上

ひのりのまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

後撰雅中

凡とまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

凡雅上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新千二

いりまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

拾遺愚草

わりのまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

同下

むいなるふく神のまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

拾玉集一

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

拾遺愚草

まのつとまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

拾玉集一

彼乃より後乃よりまういさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

金葉雅上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

後撰雅中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古下

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古下

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古下

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古下

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古下

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古上

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古中

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦

新古下

あつとてみまうりさうささのわくとさうれのみまか 和泉本邦







新法抄紙 けしよき力を得ぬよりを さすめられし秘傳なり 法華成教の  
 新古律紙 徳野川のくさくさたる世阿弥の秘傳 さまさるぬ波の如しは後 太上天白玉  
 新子巻一 世阿弥のくさくさたる秘傳のりくわて さすめられし秘傳なり 前持傳の如しは  
 拾遺草 松乃とも昔のついでとてけいひ さすめられし秘傳なり 法華成教の  
 新子巻上 さすめられし秘傳なり 法華成教の  
 新拾遺 山ひつる春そあぬ又月日 さすめられし秘傳なり 俊意法師  
 其巻二 中 山あさくたくとるなりとてけいひ さすめられし秘傳なり 法華成教の  
 新法抄紙 紅のさすめられし秘傳なり 法華成教の 侍後を説





